

加美町 地域おこし協力隊



VOL.10



加美町で職人発掘！日本一の畳職人

最近では、海外の方からも人気を集めている、日本の伝統的な床材「畳」。皆さんは、町内に日本一の畳職人がいるのはご存知ですか？

今回は、平成27年全国技能グランプリ「畳制作部門優勝」「厚生労働大臣賞」を受賞し、日本一に輝いた佐々木畳工業の畳職人 佐々木 崇 さんにお話を伺いました！

日時：令和4年6月17日（金）
場所：佐々木畳工業 大崎工房
担当：尾形・楊・佐々木・稲葉
今野・宮越・高澤

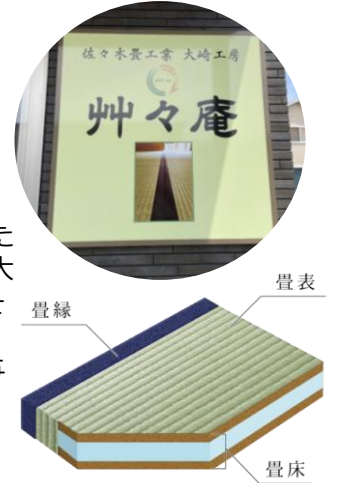
●佐々木畳工業さんについて

明治時代に創業された老舗の畳店で、家族3人で一枚一枚手縫い仕立ての畳を制作しています。畳職人 佐々木 崇 さんは、全国畳技能グランプリで数々の賞を取られている一級職人で、現在大崎市に艸々庵（そうそうあん）をオープンしています。



●畳のパーツ

畳は、「畳床(たたみどこ)」「畳表(たたみおもて)」「畳縁(たたみべり)」の大きく3つのパーツから構成されます。その内、畳床の芯となる「芯材(しんざい)」は、畳の感触にも大きく影響を与えます。



●芯材の“藁(わら)事情”

佐々木畳工業さんの芯材は、**長いままの藁(長藁)を三段構造にして**作られています。下段は縦に稲藁を並べ、中段は細かく刻んだ藁を盛り込みながら横に、上段は再び縦に並べて圧縮することで、一方の方向だけでなく、**どの方向にも強度が高い芯材になります。**

しかし長藁は、稲を収穫する際にコンバインを使用してしまうと、細かい稲藁にしかならず、長藁として仕入れることが困難になります。また、長藁を集める労力も大きく、稲藁の芯材を作る職人さんも少ないことから、現在では**長藁で作られる芯材は貴重なものになっています。**

そんな貴重な芯材を作る佐々木畳工業さんには、県外からも稲藁芯材の依頼が届くのだそうです。

●畳へのこだわり

佐々木畳工業さんでは、**加美町や大崎市の米農家さんから仕入れた稲藁**を芯材に使った畳を製造しています。現在は安く軽い発泡スチロールを芯材に使った畳が多く流通しているため、昔ながらの稲藁を使う“本物の畳”を製造している畳屋さんは、**全国でも1～2割**ととても少ないそうです。

取材中、この2種類の芯材の違いを実際に体験させていただきました。発泡スチロールは硬く感じたのに対し、稲藁の畳は体に馴染むような柔らかさがあり、その明らかな違いにとっても驚きました。



●職人手作りの畳を次世代へ

艸々庵さんは、次の世代にも“本物の畳”を残していくため、様々な商品を展開されています。そのうちのひとつ、「胡座畳(あぐらだたみ)」は「**小さな本畳**」をコンセプトに作られていて、町内にある「やくらい薬師の湯」の休憩室にも置かれています。

芯からこだわり抜いた畳を、ぜひ皆さんも体感してみてください！



●佐々木畳工業さんの情報はこちら↓



佐々木畳工業
さんのご紹介



艸々庵さんの
Instagram

お忙しいところ、
取材を受け入れて
いただきありがと
うございました！



教えて！協力隊！

隊員の知られざる活動を密着取材したコーナー！これまで伝えきれなかった隊員たちの活動をご紹介します♪

観光・インバウンド

Q協力隊になったきっかけを教えてください！

仙台の日本語学校に通いながら大好きな東北での仕事を探していた時に、「地域おこし協力隊」を知りました。調べてみると加美町の協力隊が自分にぴったりで面白そうだと思い、応募したことがきっかけです。

Q受入れ先を教えてください！

役場内にある「産業振興課」を拠点に、観光資源やイベントなど、加美町の魅力について町内外に発信しています。

Q普段はどんなお仕事をしていますか？

パンフレットやホームページの翻訳、外国人観光客に向けて加美町の情報発信などを行っています。また、イベントのお手伝いや観光施設の案内もしています。

Qやりがいや大変なことは何ですか？

仕事をしながら加美町のことをたくさん知ることができるのは楽しいですね！また、いろんな人と交流することで人脈も広がり、その出会いによって自分も成長できたと感じた時にはやりがいを感じます。

ただ、言語の壁によって、どう伝えたら良いか苦戦することもあります（泣）

よう **楊** さいよう **采容** (3年目) 出身：台湾台北市



Qとっておきのイベントを紹介してください！

今回は6月11～12日に開催された「メダカと盆栽展」を紹介したいと思います！

このイベントは、加美町振興公社が主催し、陶芸の里ゆ～らんどで昨年度から催されています。

Q昨年のイベントの様子はいかがでしたか？

町内外から多くの来場者がありました。ゆ～らんどの敷地内には、温泉・キャンプ場もあるので、帰りに利用される方も多く見受けられました。



Qこのイベントの魅力は何ですか？

かやぶき民家の中で“静”の盆栽と“動”のメダカが作り出す、心休まる癒しの空間を体験できるのが最大の魅力ですね。そのほかにも、切込焼のランプシェードが展示されていて、加美町の文化にも触れることができます。

Qお客様にはどのように楽しんでほしいですか？

かわいらしいメダカと枝ぶりが見事な盆栽、かやぶき民家が調和した空間で、心静かに癒しのひと時を味わってほしいですね！

アウトドア・アクティビティ

おがた **尾形** しゅうと **秀斗** (2年目) 出身：宮城県利府町



Q協力隊になったきっかけを教えてください！

自然豊かな環境と多様なアクティビティがある加美町で、今までとは違った経験を積みたと思い、協力隊を志望しました。

Q受入れ先を教えてください！

加美町観光まちづくり協会で、観光・物産資源を活用した交流人口の拡大と、町内産業の振興を図るためのPR、販路拡大に取り組んでいます。

Q普段はどんなお仕事をしていますか？

イベントの企画運営や、SNSを活用した町内の観光スポット・飲食店・イベントのPR、窓口での観光案内などを行っています。

Qやりがいや大変なことは何ですか？

複数の事業を同時進行で進めなければならないときは、大変さを感じますね。

しかし、町内の様々な事業所さんと関わりを持つことができたり、取材を通して町のことに詳しくなれるのは、この仕事ならではの感覚です。イベントに参加した方から直接感想を聞くことができるのも嬉しいですね！

Q現在担当しているイベントはありますか？

加美町世間遺産の募集を主に担当しています！

Q加美町世間遺産とはどんなイベントですか？

町内にある、“当たり前”だけど「人に伝えたい・残したい」風景やものを広く募集し、“加美町ならではの”お宝として認定する事業です。



Q昨年度の反響はいかがでしたか？

37件の推薦があり、11件を世間遺産として認定しました。認定された世間遺産はテレビ・ラジオ・新聞などに広く取り上げていただきました。

Q今年は新しい取り組みがあると伺いました！

今年度は小・中学生を対象とした別枠募集をスタートします。子どもの視点で新たなお宝が発掘されるのが楽しみです。皆様からたくさんの応募をお待ちしています！



ささき しょう (2年目)
佐々木 翔 出身：宮城県富谷市



Q協力隊になったきっかけを教えてください！

以前から興味があった農業の世界に没頭したいと思い、加美町で協力隊になろうと考えました。

Q受入れ先を教えてください！

加美町鳴瀬地区にあるタカノ産業株式会社で活動しています！タカノでは鮮度・均一化・風味にこだわったネギを生産しています。



Q普段はどんなお仕事をしていますか？

ネギの種まきや収穫、出荷のための調整作業を中心に、キャベツの定植作業や出荷、田んぼの手伝いをしています。

Qやりがいや大変なことは何ですか？

ネギが規定にあった太さや長さに育ったときは非常に嬉しいです！しかし、手間暇かけて育てている分、大雨などによりダメになってしまうのはとても辛いですね…。日々の活動の中で常に学びがあり、独立後の自分を想像しながら作業するのがとても楽しいです。

Qなぜネギ農家になろうと思ったのですか？

休耕地問題や人手不足など、農業に人を呼び込むことで問題解決の一手になるのではと考えました。また、ネギは多くの飲食店で使われ、必要とされている野菜だということに気づかされました。今ではネギ農家になることに迷いはありません。



Qネギの作業工程を教えてください！

冬の時期（1月～4月）に数回に分けて種・育苗をし、畑へ定植します。その後6月～12月にかけて収穫・出荷作業を行います。

Q他にはどのような作業がありますか？

太さを調整するために、種の粒数や株間の広さに配慮したり、白根を伸ばすために定植した後の土崩し、土あげといった作業があります。また、草刈りはやっぱり大変ですね。刈った後、綺麗な畑を見ると気持ちがいいのですが、この間草刈りしたばかりなのにまた伸びてる…なんてことがしょっちゅうです（笑）。

グリーンツーリズム

たかざわ えりな (1年目)
高澤 英里奈 出身：宮城県多賀城市



Q協力隊になったきっかけを教えてください！

夢中で子育てをしてきて、子どもの成長とともに時間に余裕ができたことと、竹細工職人に出会ったことで職人に一歩でも近づきたいという思いがあり、好環境の加美町で協力隊になりたいと考えました。

Q受入れ先を教えてください！

加美町グリーン・ツーリズム推進会議にて、中学校や高校の野外活動の受け入れを行っています。

Q普段はどんなお仕事をしていますか？

中学校や高校の農業体験・地域交流体験の支援に向けて、準備を行っています。私はまだ加美町に来て日が浅いので、町内の情報収集も積極的に実施しています。また、週に一度、加美町観光まちづくり協会のお仕事にも携わらせてもらっています。

Qやりがいや大変なことは何ですか？

受け入れた子どもたちが体験の中で笑顔になってくれるのは、見ていて嬉しいです。ただ、受け入れ中は色々と気を配って動いているので、体力も必要です。子どもたちや地域の方々と仲良くなれるのも楽しいです！

Q.5月は何校を受け入れしましたか？

日帰り体験を3校と、2泊3日の体験を1校受け入れました。

Q.どのような体験内容でしたか？

2泊3日の受け入れは中学2年生で、やくらいコテージに泊まり、カヌーや陶芸・田植え・もちつき体験と様々な体験を行いました。昼・夕食には地元のお米や旬の野菜をたっぷり使用したカレーライスなどを地元の方々につけていただき、加美町の魅力をたくさん見て・知って・体験して・味わってもらいました。



Q.子どもたちに体験をしてもらおう上で、心がけていることを教えてください！

野外で炎天下の活動や立ちっぱなしの体験が多いので、生徒さんの体調を常に気にして声かけをするように心がけています。

Q.ご自身でイベントを企画していると伺いました！

不要になった竹などを使い、「SDGs」を考慮したイベントを企画中です。乞うご期待ください！

【協力隊意見交換会】

色麻町協力隊・大崎市協力隊と意見交換会を行いました！初めは緊張していましたが、だんだんと盛り上がり、時間ぎりぎりまで楽しくお話することができました♪

今後も様々な市町の協力隊と関わる機会があると思うので、交流を深めながら連携を大事にしていきたいと思います。

なんと！色麻町と協力してドラゴンカヌー大会に参加！



6/30 大崎市協力隊と



6/3 色麻町協力隊と



【世間遺産巡り】



協力隊が加美町世間遺産を実際に訪れ取材！皆さんにご紹介するコーナーです♪



No. 7 : 薬菜山入口

歌碑

薬菜山入り口にあるこの歌碑は、昭和48年故池田伊兵衛氏協力の元、歌人の工藤幸一氏が建立したものです。工藤幸一氏は薬菜山をこよなく愛し、現在でも薬菜短歌会が意思を引き継いで活動しています。



No. 1 : 薬菜山山頂付近

姥神（うばがみ）様

薬菜山の山頂付近にたたずんでいる姥神様は、「女性の一生の思いと願いを込めた神様」といわれ、身体のパーツごとに願いが込められています。姥神様にはお洋服が着せられていますが、いつ誰が着せているのか未だに謎です。



No. 5 : 鹿島神社

おもものめ様

鹿島神社に祭られている「おもものめ様」は、その昔大蛇と恋に落ちた娘との逸話があり、縁結びの神と呼ばれています。



神社清掃も頑張りました◎



要石（かなめいし）

No. 5 : 鹿島神社

地震は地下にもぐったナマズの「寝がえり」だとされ、要石は地震ナマズを永遠におさえているとの言い伝えがあります。この土地では要石がまつられているため昔から大きな災害がないと語り伝えられています。



【発行元】

加美町地域おこし協力隊瓦版
〒981-4252 加美町字西田三番5番地
ひと・しごと推進課 TEL:0229-63-5611
制作・編集 地域おこし協力隊 北川

加美町役場地域
おこし協力隊HP



加美町地域おこし
協力隊Instagram
kamichioko

